

翼を広げて

2025年7月25日

札幌市立
共栄小学校
佐藤 旭

伝統を受け継ぐ「越後屋」

今回の修学旅行で行った越後屋は、洞爺湖の周りにあり、伝統を受け継いで手づくりの木刀や、まんぢう、キーホルダーなどが売っている老舗です。自分の目の前で自分が買った木刀に自分の名前を2文字まで無料で入れてくれるサービスもやっています。今回は団体割引で10%引きをしていただきました。木刀にはやはり魅力があり惹かれ

ました。なぜ木刀に魅力を感じたかというと、「①僕は歴史のなかでも戦国時代が好きで、昔の人のことを想像して憧れる②木刀を売っているところはなかなか、買いたくなってしまう」からだ、と考えました。それでも今回の修学旅行のお買い物に持っていた値段は4500円で、マリナーパークニクスでの買い物も予定されていたので、気をつけたいと思いました。

ホテルでの過ごし方



ホテルでの夜ご飯の前の様子

修学旅行では洞爺観光ホテルに泊まりました。ホテルでは宿泊班ごとに泊まります。ホテルでの夕食はハンバーグやお刺身、鮭の味噌煮やケーキもありました。鮭の味噌煮は味噌の味がきいてとても美味しかったです。またケーキは修学旅行という特別な時に

食べられたのが嬉しく、とても美味しく感じました。ホテルでの部屋の過ごし方についてです。入って早々自分たちが部屋に荷物を放り投げておいたため、部屋はすぐに荒れてしまいました。そしてそのまま寝て、朝には同じ宿泊班の友達の帽子が消えてしまいました。急いで探したもののすぐには見つかりませんでした。先生に部屋に来てもらって、探し方を教わった直後に帽子は見つかりました。それでも集合の時間に遅れてしまいました。後の自分のために自分のものはしっかりとまとめておいて管理することや、ものの効率のよい探し方について学ぶことができました。

飼育員の仕事を学ぶ

修学旅行では、登別市にある登別マリナーパークニクスという水族館にも行きました。登別マリナーパークニクスでは、オットセイプールの目の前で飼育員レクチャーをしていただきました。主に飼育員の仕事は、3つの「じ」だということを学びました。1つ目は調餌（ちようじ）で、動物たちに、餌の種類や量を間違えないようにして、一匹一匹違う餌を選ぶそうです。教えてくださった魚だけでも6種類あるんだそうです。



飼育員レクチャーで3つの「じ」を教わる様子

2つ目は給餌（きゆうじ）で、動物たちに餌を与えることです。調餌で選んだ餌を動物たちに与えることです。3つ目は掃除（そうじ）で、動物たちが飼育されている場所をきれいにすることです。生き物によって掃除の頻度を変えるそうです。たまに水槽を見ているとそうじをしている人がいたり、餌をあげているところが見られるそうです。このように飼育員の仕事について学びました。これまでは餌をあげたりするだけだと思っていたので、新しく3つの「じ」を知れてよかったです。

修学旅行で大きく成長



伝統を受け継ぐ越後屋の入口の様子

昔の人の暮らしを知る

北黄金貝塚は伊達市にあり、縄文時代の人々の生活がわかる場所です。まず北黄金貝塚では、教科書のように旧石器時代や縄文時代が略されていない、本物の

の年表を見せていただきました。これらの時代がとも長いんだということを実感しました。つぎに縄文時代のものをそのまま保存したという水場の祭祀場を見

せていただきました。発掘したときに一つ一つの石を記録して、元の状態に戻すという途方もない作業をしたそうです。よくみると、人工的に作られたようなものがたっていました。その後は、発掘したときに出土したものを再現したものだという竪穴住居や、貝塚をみ

ました。竪穴住居では、柱の数4本のものと6本のものがあるんだということを知りました。竪穴住居のなかでは暗く、よく昔の人はこんなところで生活していたなと感じました。このように北黄金貝塚では昔の人の暮らしについて詳しく知ることができました。

編集後記

僕はこの新聞を書いて、修学旅行で楽しかったことを改めて実感して、楽しくなりました。なぜなら、楽しかったことを書いたことで、あんなこともあったなあと思い出して、心が楽しくなったからです。そして



新聞を書くことは楽しいと感じて、今度旅行に行ったらまた新聞を書いてみたいと思いました。それと同時に自分たちの改善点もわかってきました。もう少し早く準備すれば余裕を持って修学旅行に行けたのではと思うところがあるので、これからこのようなことがあったら今回感じたことを活かして、余裕を持って取り組めるようにしたいです。

自然と触れ合う

ヒルトンニセコビレッジにある自然体験ピュアは、木の上のコースを回ったり、地上10mから飛び降りたりすることができます。ツリートレッキング上級に行き、樹液がついた木の真横を通るなどの自然のすぐ近くで遊びました。また木から木へ移動する長いターザンロープにのって風を切り、自然との一体感を感じました。僕は昔の人はこのように自然のすぐ近くで暮らしていたと知っていたので、昔の暮らしを体験したような不思議な気分になりました。

事前準備のコツ

見通しと報・連・相

修学旅行の事前準備では行く先で会う人に挨拶をする式の練習や行く市や町は

どのようなところなのかを調べました。僕の担当は北黄金貝塚で、どのようなところなのか調べて、スライドにまとめました。北黄金貝塚についてのプリントが配られたのでそれにのってスライドを作っていました。授業の時間内にはしっかりと取り組んでいたが、授業で終わらなかった分は、そのままにしてしまっていました。幸い発表前に授業で時間を取ってもらったので、なんとか間に合い、発表も成功しました。これから何かをするときには事前にしっかりと見直しをもって計画して、報・連・相（報告・連絡・相談）を意識して余裕を持って活動していきたいです。